

科目名	建築概論						年度	2026	
英語科目名	Architecture Overview						学期	前期	
学科・学年	建築学科 2年次	必/選	必	時間数	15	単位数	1	種別※	講義
担当教員	小林 猛	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】									
<p>建築とインテリアを学ぶ上で特有の考え方があることを知り、ワークショップを通して建築の楽しさや奥深さなどを学修する。次に、業界には様々な分野があることを把握し、これから先に学んでいく4年間の科目と学修分野がどのように関連しているかを理解する。</p>									
【科目の概要】									
<p>ワークショップを通して建築を学ぶ人材に特有の考え方があることを「建築を学ぶためのパターン・ランゲージ」を通して楽しみながら学ぶ。また、建築インテリア分野を学ぶ上で1つ1つの科目の意味を知り、科目ごとにどう関連しているかを把握する。さらに、仕事の目的や内容について紹介し、簡単なワークを通して建築インテリアに関する理解を深める。</p>									
【到達目標】									
<p>次の4点を到達目標とする。 A：建築を学ぶ人材に特有の考え方、ものごとへの視点を持つことができる。 B：ワークショップの意義を理解した上で取り組むことができる。 C：4年間で学ぶ科目の内容と2年次で学ぶ科目同士の関係がわかる。 D：建築とインテリアの仕事の領域や内容がわかる。</p>									
【授業の注意点】									
<p>教科書・配布資料をよく理解し、予習・復習を行うこと。 なお、ワークが未提出のままでは、0点になる。</p>									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	特有の考え方・視点について深く理解している。		特有の考え方・視点を持つことができる。			特有の考え方・視点について理解が少ない。			
到達目標 B	ワークショップに積極的に参加している。		ワークショップに参加している。			ワークショップに参加してるとはいえない。			
到達目標 C	科目内容と科目同士の関係をおおよそ図に書いて説明ができる。		科目内容と科目同士の関係を半分程度、図に書いて説明ができる。			科目内容と科目同士の関係の理解が少ない。			
到達目標 D	仕事の領域や内容について自ら調べることができる。		仕事の領域や内容がわかる。			仕事の領域や内容を理解しようとする意欲が少ない。			
到達目標 E									
【教科書】									
初学者の建築講座『建築インテリア』／市ヶ谷出版社									
【参考資料】									
資料冊子、教育設計図、科目関連表									
【成績の評価方法・評価基準】									
授業中に実施するワークショップ課題の内容、パフォーマンス課題で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		建築概論			年度	2026
英語表記		Architecture Overview			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	建築とインテリアの学び方	1 授業の概要	授業の概要を理解している	1	
			2 授業の進め方	授業の進め方について理解している		
2	ワークショップ1		1 建築とは？	8つのテーマについて理解している	1	
3	ワークショップ2		1 交差点に立つ	このテーマについて理解している	2	
			2 ロマンとガマン	このテーマについて理解している		
4	ワークショップ3		1 ドアノブから都市まで	このテーマについて理解している	2	
			2 歴史の中に起つ	このテーマについて理解している		
5	ワークショップ4		1 シェルターとモニュメント	このテーマについて理解している	2	
			2 資格の重み	このテーマについて理解している		
6	ワークショップ5		1 大地に建つ	このテーマについて理解している	2	
			2 建築に宿る生	このテーマについて理解している		
7	ワークショップ6		1 アーキテクトビルダー	このテーマについて理解している	2	
			2 8つのテーマの振り返り	8つのテーマについて振り返ることができる		
8	ワークショップ7	1 建築思考	8つのテーマについて理解している	1		
9	ワークショップ8	1 手で考える	このテーマについて理解している	2		
		2 脳内ウォークスルー	このテーマについて理解している			
10	ワークショップ9	1 現場思考	このテーマについて理解している	2		
		2 身体が定規	このテーマについて理解している			
11	ワークショップ10	1 全体性とディテール	このテーマについて理解している	2		
		2 模型思考	このテーマについて理解している			
12	ワークショップ11	1 「問い」の創造	このテーマについて理解している	2		
		2 ユーザー志向	このテーマについて理解している			
13	ワークショップ12	1 共創のデザイン	このテーマについて理解している	2		
		2 8つのテーマの振り返り	8つのテーマについて振り返ることができる			
14	授業科目に対する理解	これから学ぶ科目についての理解	1 科目の分布	いつ何を学ぶかについて理解している	2	
			2 科目の内容	科目がどんな分野に関連しているか理解している		
			3 科目と仕事のつながり	科目がどんな仕事に関係しているか理解している		
15	仕事に関する理解	建築とインテリアの仕事に関する理解	1 仕事をする魅力	建築とインテリアの仕事の魅力を理解している	2	
			2 仕事の領域	分野の名前と仕事の領域を理解している		
			3 仕事の内容	分野ごとの仕事内容を理解している		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等